

|                  |   |      |      |                      |               |          |     |    |
|------------------|---|------|------|----------------------|---------------|----------|-----|----|
| 授業科目             | 北九州の技と文化  |      |      |                      | 単位            | 1        |     |    |
| 履 修              | 選択  | 関連資格 |      |                      | ナンバリング        | EN10603J |     |    |
| 開講年次             | 3   | 開講時期 | 前期   | 該当DP                 | DP1-1         |          |     |    |
| 担当教員             | 林 裕二  |      |      |                      |               |          |     |    |
| 授業概要             | <p>北九州には、長年、ものづくりに携わり、優れた技術・技能をもった「匠」「達人」がいて、「企業」があります。タイムパフォーマンス、利便性が追求される現代では、地域で育まれてきた技や伝統文化に出会い、接する機会も少なくなってきました。本講では、達人たちの生き方や仕事に対する向き合い方、企業の歴史、今後の展開や方向性を学び、これからの人生への礎としてほしいと思います。この授業では、北九州の文化圏でその技や文化を継承し、発展させてこられた外部講師の方々の講義のほか、体験を通して、地域に伝承される技やその背景の文化の一端を知り、考えます。ディスカッション、レポート、発表(口頭、プレゼンテーション)、レポート外の提出物、その他の活動で理解を深化させて、提案ができるようになる活動を行います。PPT(オンライン提出)をベースにして、ポスターを作成します。それを教室に貼り、ポスターセッションを行います。ポスターセッションとは、ポスター作成者が聞いてくれる人たちに発表をすることです。なお、PPTは全員がオンラインで確認します。それを見て、どの人たちのポスターセッションを聞こうかと決めておくことになります。</p> <p>* 外部講師(全5回)と学生の活動報告(1回)の内容・順番が変更になることもあります。</p> |      |      |                      |               |          |     |    |
| 学生が達成すべき行動目標     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域・社会で活躍することの意義を習得することができる</li> <li>2. 伝承されてきた技と背景的な歴史と展開を理解できる</li> <li>3. 講義内容を理解し、まとめ、提案を含むプレゼンテーションをすることができる。</li> </ol>  |      |      |                      |               |          |     |    |
| 達成度評価            |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 評価と評価割合／<br>評価方法 | 試験  | 小テスト | レポート | 発表(口頭、<br>プレゼンテーション) | レポート<br>外の提出物 | その他      | 合計  | 備考 |
| 総合評価割合           | 0   | 0    | 40   | 20                   | 20            | 20       | 100 |    |
| 知識・理解 (DP1-1)    |   |      | 40   | 20                   | 20            | 20       | 100 |    |
| 知識・理解 (DP1-2)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 知識・理解 (DP1-3)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 知識・理解 (DP1-4)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 思考・判断 (DP2-1)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 思考・判断 (DP2-2)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 関心・意欲 (DP3-1)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 関心・意欲 (DP3-2)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 態度(DP4-1)        |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 態度(DP4-2)        |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 態度 (DP4-3)       |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 技能・表現 (DP5-1)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 技能・表現 (DP5-2)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 技能・表現 (DP5-3)    |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 具体的な達成の目安        |   |      |      |                      |               |          |     |    |
| 理想的レベル           |   |      |      | 標準的なレベル              |               |          |     |    |

| 講義内容の意味を正確に理解し、適切な表現で課題を分かりやすくまとめることができる。また客観的な根拠(エビデンス)に基づいて論理的に主張を述べ、独創的な提案ができる。 |   | 講義内容の意味を理解し、適切な表現で課題をまとめることができる。根拠(エビデンス)を示して、自らの主張を述べ、提案ができる。 |                    |            |
|--|---|--|--------------------|------------|
| 授業計画   |   |  |                    |            |
| 進行   | テーマ・講義内容  | 授業の運営方法  | 学習課題(予習・復習)        | 予習・復習時間(分) |
| 1  | テーマ:オリエンテーション<br>本講義の目的と授業の進め方、達成の目安、評価方法等について 解説する。(林) | 講義   | 講義の概要について理解し、復習する。 | 30分        |
| 2  | テーマ:地域で育まれてきた文化(1)<br>小倉織とその文化(外部講師、林)                  | 講義   | 講義の概要について理解し、復習する。 | 40分        |
| 3  | テーマ:環境モデル都市と文化 (外部講師、林)                                 | 講義   | 講義の概要について理解し、復習する。 | 40分        |
| 4  | テーマ:地域の伝統と食文化<br>(外部講師、林)                               | 講義   | 講義の概要について理解し、復習する。 | 40分        |
| 5  | テーマ:1.地域貢献に活躍する学生の活動報告<br>2. 評価方法等について (林)              | 講義   | 講義の概要について理解し、復習する。 | 40分        |
| 6  | テーマ:地図づくりの歴史とこれから(外部講師、林)<br>*ポスターセッション用紙配布             | 講義   | 講義の概要について理解し、復習する。 | 40分        |
| 7  | テーマ:地域で育まれてきた文化(2)<br>地域の食文化-「ぬかだき」を知る(外部講師、林)          | 講義   | 講義の概要について理解し、復習する。 | 40分        |
| 8  | テーマ:1.プレゼンテーション(ポスターセッション)<br>(林)                       | 講義   | 講義の概要について理解し、復習する。 | 50分        |
| 9  |   |  |                    |            |
| 10   |   |  |                    |            |
| 11   |   |  |                    |            |
| 12   |   |  |                    |            |
| 13   |   |  |                    |            |
| 14   |   |  |                    |            |
| 15   |   |  |                    |            |
| 16   |   |  |                    |            |
| 17   |   |  |                    |            |
| 18   |   |  |                    |            |
| 19   |   |  |                    |            |

|                                |  |  |  |  |
|--------------------------------|--|--|--|--|
| 20                             |  |  |  |  |
| 21                             |  |  |  |  |
| 22                             |  |  |  |  |
| 23                             |  |  |  |  |
| 24                             |  |  |  |  |
| 25                             |  |  |  |  |
| 26                             |  |  |  |  |
| 27                             |  |  |  |  |
| 28                             |  |  |  |  |
| 29                             |  |  |  |  |
| 30                             |  |  |  |  |
| 理解に必要な予備知識や技能                  | 初回の授業(オリエンテーション)で講義全体の概要を説明する。関連する文献を読み、予備知識を得ておく<br>と、授業の内容を深めることができる。初年次ゼミナー I、II 等が理解できている。   |  |  |  |
| テキスト                           | 1.授業前課題が出されます。30分程度は学習が必要な課題です。2.プリント等で配布する。   |  |  |  |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介          | 大学図書館の朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル(大学図書館、キャンパス内の情報演習室等から閲覧可能です)<br>新聞・雑誌を利用します。図書館には何種類もあります。<br>知へのステップ 第5版 —大学生からのスタディ・スキルズ<br>学習技術研究会(著)出版社:くろしお出版;第5版(2019)<br>ポスターセッション関連:<br><a href="https://about.yahoo.co.jp/info/blog/20190410/postersession.html">https://about.yahoo.co.jp/info/blog/20190410/postersession.html</a><br><a href="https://vipcamp.org/2016/poster.html">https://vipcamp.org/2016/poster.html</a><br><a href="https://www.toyama-c.ac.jp/news/000735.html">https://www.toyama-c.ac.jp/news/000735.html</a> |  |  |  |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ           | 日頃から新聞、雑誌等を読み、ニュースを見て、世の中でどのようなことがおきているかを知ることが大切です。図書館を活用しましょう。<br>社会にはいろいろなことがあることを知るのには、紙の新聞です。いろいろなことが社会にはあることが新聞を広げることで、わかります。   |  |  |  |
| 達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法 | 評価については1回目の授業で詳細を説明します。大まかには、次のようになります。1.「レポート」は、授業(8回)の最後に出すコメントで40。2.「発表(口頭、プレゼンテーション)」は最終回のポスターセッション発表で20。3.「レポート外提出物」はPPTでの提出物で20。4.「その他」はポスターセッションを聞いた後のレポートで20です。1、2は教室で提出。3、4はオンライン提出。1.「レポート」は写真撮影をしておきます。<br>出席は評価の対象ではありません。単位認定の条件です。3回以上の欠席で単位認定資格を失います。<br>レポート、提案などは感想だけでは成り立ちません。客観的なエビデンス、論理的構成が必要です。わかりやすい文章、プレゼンテーションのスキルはキャリアでも有利ですので、在学中にきちんと習得しておくことが大事です。  |  |  |  |

